

# 人間行動学科 地理学コース

地理学コースは、地理学の中でも広く人文（人間）がかかる現象を扱う「人文地理学」という学問分野について、研究教育を進めています。このように地域を研究する技術を身につけた卒業生は、公務員・一般企業研究機関など多様な職種に就職しています。デスクワークを越えたスキルを獲得できるという点でも就職是有利だと思います。

私は、沖縄に集中する米軍基地をめぐつてどのような政治運動が展開してきたかを地理学的視点から研究しています。こうした運営の原因を大陸や海洋をめぐる国際関係だけでなく、沖縄の住民を取り巻く環境にも注目して、住民が何を考えて行動するのかという理的な部分にまで迫っています。

たとえば、沖縄が日本・台湾・中国、そして米国という国際関係上とのようないくつかの視点からも見ていく必要があります。

また、沖縄は100以上の島があり、ひとくくりに沖縄として考えるのは難しいです。そのため、もっと細かい島や地域ごとの違い、地域性に着目して研究しています。

## 研究について



教授  
やまざき  
山崎  
たかし  
孝史 先生

## 梶本さんについて



3回生  
かじもと  
ちひろ  
千尋さん

「コースに入ったきっかけ」

初めは主に地図に関心があったのであります。「洋風」や「和風」という言い方は、芸術が地球上のどこかの文化・文明から生まれていることを示しています。個人の芸術家でもそうした芸術家を育てるための教育であるのに対

して、住民が何を考えて行動するのかという理的な部分にまで迫っています。

この授業では、ある地域について調べるテーマをいくつか決め、テーマの班ごとに事前調査を行ない、その後の発表時に意見交換を行ないます。昨年度は島根県出雲市を行いました。初めてのフィールドワーク、聞き取り調査は大変でしたが、とてもよい経験になりました。普段見ることがない自然の構造は強烈に印象に残っています。

## おすすめの授業



- 映画製作がもたらす地域への影響  
——奈良県大和郡山市を事例に——
- 獣肉利活用は獣害対策に貢献するのか  
——三重県みえジビエを事例として——
- 「大阪産（もん）」からみる都市近郊農産物の空間的広がり

## 山崎先生についての「芸術」



芸術といつてもどこかで生まれ、発展するものであり、必ず場所とのつながりがあります。「洋風」や「和風」という言い方は、そこに描く文化情報である地図は、そこに描くものや表現方法によって、たとえ同じ情報を示すものであっても見る人に異なる感情や印象を与えます。そのことを学び、観光マップやハザードマップなど、映し出される様々な地図を見るとときに、映し出される芸術の影響を受けています。もう一つ地域性のある芸術を指す言葉として、「民芸」があります。これに日本国内でも北海道から沖縄県に至るまで、多くの民芸があります。伝統的な習俗や工芸の成立は場所ごとの自然環境と密接にかかわっ

ており、多様な地域性を示します。文化地理学と呼ばれる分野はそうした芸術と地域とのかかわりを解明するための研究方法によって、たとえ同じ情報を示すものであっても見る人に異なる感情や印象を与えます。そのことを学び、観光マップやハザードマップなど、映し出される様々な地図を見るとときに、映し出される芸術の影響を受けたりすることはありませんが、人が創り出したことによる影響を受けたりすることもあります。

一方、国内外で地域活性化を目的とする新しいアートや文化を創造する活動が、これまでにならぬ形で行われるようになります。そのため、人は自分自身を確立していくのではないかと思います。



## 卒業論文 タイトル紹介

- 1歳児保育におけるおもちゃを通じた保護者支援のあり方に関する研究
- Xこども園を事例として——
- 夜間中学の現状と在日外国人の学習権保障の場としての可能性
- 大学生の能力観に関する研究



3回生  
やまと  
あや  
美さん

## おすすめの授業

大阪市の幼稚園や小・中・高等学級などの教育現場における「芸術」について発表し、子どもの変化や学校文化についても発表し、受講者同士で討論してその教育的意義について考察する授業です。実際に学校現場に入ることで、教室の掲示物や児童・生徒への声掛けには、教師の様々な意図が反映されていることに気づきました。

私は日本の教育史、主に初等教育についての研究を行なっています。人々が行きやすい学校のかたちなどの、その時代の行政の文書や雑誌、新聞記事など様々な資料を分析することで制度や政策の面から解説していくことがあります。

教育学コースには、現在の教育を研究対象とし、今後の教育課題やこれから教育の在り方などを検討しておられる先生もいます。しかし私の研究は過去の教育を対象として、それをどのよう見ることができるのか資料を用いて確実にすること、また必要な資料を振り起こして整理することです。事実とみなされされているのであっても、もう一度見直すことで別の見方や異なる考え方を発見することがあります。そうして明らかになった事実をどう解釈するかは人それぞれですが、別の視点から新たな気づきを得る人が現れたらとても嬉しいですね。

教育学とは、人が人に何かを伝える、人が人から何かを学ぶ、ということを様々な視点から研究する学問です。

「教育学コースってどんなところ？」

教育学とは、人が人に何かを伝える、人が人から何かを学ぶ、ということを様々な視点から研究する学問です。

「教育」というと、学校の先生になると、そのための知識、というイメージを持つ人が多いのですが、教育は親子の間、地域社会の中、職場の中など社会のあらゆるところにその営みがあります。それぞれに、どうやって伝えたらいいか、「どうしたらわかつてももらえるのか」という問いが出てきます。そのための知識が、一生の中で直面する、様々な場面において、教育、という切り口で社会に貢献できるような人材形成を教育学コースではめざしています。



教授  
かじわぎ  
あつし  
梶木 敦先生

## おすすめの本・映画

人のおすすめに左右されるより、心の支えになる、自分だけのお気に入りの作品を見つけてほしいです。進んで本を読み、映画を観てください。



## 柏木先生にとっての「芸術」

柏木先生にとっての「芸術」は、学校の授業として、「芸術」に図画工作や美術、音楽や絵画や舞など、様々な表現形式で企画・運営をなす中で授業での学びを改めて実感できるよい機会となるべきで、学生主体で行なつてほしいと思います。それが単なるお楽しみとしてのものではなく、学生主体での宿泊旅行や発達など、様々な興味があり、教育学コースへ進みました。



## 柏木先生について

教育学実習

## 卒業論文 タイトル紹介